校番 16 ホームルーム活動 生徒会活動 ○ 学校行事 別紙様式 2

## 令和3年度生徒指導サポート実践校「特別活動の取組事例」

**学校名** 広島県立大竹高等学校 **校長** 増田隆 **生徒指導主事** 岡本茂生

取組事例名 『大竹高校100周年記念行事』						
取組における育てたい資質・能力						
人間関係形成		社会参画		自己実現		
コミュニケーション能力	3	主体性・積極性	2	達成感・自己有用感	1	

## 取組のねらい

学校創立100年の節目に在学していることを誇りに思い,歴史ある大竹高等学校100周年記念式 典の成功に向けた取り組みから,自己有用感や達成感を共有することを狙いとする。

取組の具体的内容	取組の創意工夫		
収益の共体的内容	『帰属意識の向上』		
○事前準備	・学校スローガン「百周年記念行事」		
・記念キャラクター制作・クリアファイル制作			
・部活動成果発表 (ダンス部・吹奏楽部・書道部)			
·課題探求発表 (太鼓演奏)			
・校内美化(美化委員)			
・クラインガルテン整備(グリーンライフ選択者)	・生徒会執行部や部活動生徒を中心と		
・式場設営	し生徒がやりきる機会の提供		
○役割分担			
• 受付(生徒会執行部)			
・司会進行(生徒会代表)			
•挨拶(生徒会長)			
• 来賓案内(商業選択者)	・仲間との共同制作や積極的な発表の		
・道案内係(2・3年生有志)	機会を設けることで、達成感や自己有		
•接待係(福祉選択者)	用感の醸成		
・ステージ移動係,・緞帳・スポット係(課題探求グループ)			
• 放送関係(放送部)			
· 駐車場係(部活動生徒)			

## 取組の成果と課題

○生徒の主体的取組を目標に準備を進めてきた。式典に参加していただいた来賓の方々からは、「とても良い式典だった」「生徒たちのもてなしが素晴らしかった」「元気な挨拶や丁寧な案内がよかった」などたくさんの肯定的意見をいただき生徒たちの自信に繋がった。

○歴史ある大竹高等学校のこれからを担う生徒たちが、自覚と責任の重みを実感する大切な機会ととらえた大きな行事である。この経験を生かして学校全体の取組みにどの様につなげていくかが今後の課題である。